

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年11月10日

議 会 議 長 様

議席番号 1 番

議員氏名 太 田 康 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 重すぎるランドセルの改善は	ランドセル症候群という言葉が2020年頃から使われるようになりました。筋肉、骨格が未発達である小学生の背負うランドセルが重すぎることによって引き起こされる肩や首、背中の痛みやこり、腰痛、姿勢の歪み、さらには身体的な負担から通学や学習意欲の低下等、心身への悪影響の呼称です。 GIGAスクール構想によりタブレット端末を持ち運ぶようになり、水筒も毎日持参。さらに、体育の着替え、給食セット、上履き等、年々重さを増しているように見えます。これにより、登下校時ランドセルの重さに耐えるため、猫背になり下を向くように歩いている児童が多く見受けられます。 小学生の荷物を減らし、健康被害を軽減できないか、以下伺います。 (1) 人が背負う荷物の重さは体重の10%程度が適切であると言われている。小学生の学年ごとの平均体重と教科書等を含むランドセルの重さは。 (2) ランドセル以外の荷物は何があるのか、またそれらの重さは。 (3) 2018年に文部科学省が「児童生徒の携行品に係る配慮について」という、いわゆる「置き勉」を認める通知を出しているが、当町での検討、実施状況は。	町長 副町長 教育長 学校教育課長 教育総務課長 担当課長

11月10日 午前・午後 8時40分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(4)授業や宿題でタブレットを使わない日も充電の為に毎日持ち帰りをしている。置いて帰れるような仕組みを検討できないか。 (5)水筒も毎日持っていき、重いため、水道水を飲みやすくするような冷水器設置等対策を検討できないか。 (6)小学生低学年の児童の3人に1人は「ランドセル症候群」を経験しているとの民間会社の調査報告がある。当町での発生状況は。	